

◆市民合意形成の手法とプロセス

市民の共感を得た計画とするため、どのように市民意向を把握しようとするか。

1 まちの中心を見つめ直し、市民と共に将来の姿を、共感を得るための公開ワークショップ

○広く市民の参加を募り、整備内容を共有するためワークショップを開催します。
○ワークショップは全6回の開催を予定し、次のような内容で実施します。

- 第1回：地域の現状と問題点を把握しよう！（地域の点検タウンウォッチング）
- 第2回：箕面駅周辺の将来の姿を考えてみよう！
- 第3、4回：整備内容の検討（デザインゲーム）
- 第5回：施設の維持管理の進め方、地域を育てていくために
- 第6回：整備内容の確認（検討結果の報告会）



○ワークショップは、みのおサンプラザ1号館地階フリースペース（タウンインフォメーション横）を利用し、公開型での実施を検討します。
飛び込み参加OK！

- タウンウォッチングやデザインゲームなど、多彩な手法で実施します。
- 整備した後の施設や地域の維持管理方法、まちの『顔』として、より良いものにさらにグレードアップしていくための市民の関わり方などについても議論します。
- 参加者は、一般公募のほか、駅利用の通勤通学者、地域に根ざした活動を展開する市民団体（箕面シンボルロードまちづくり協議会、箕面まちづくり協議会推進プロジェクト会議など）のメンバーの参加も呼びかけ、多様な視野で検討を進めます。
- ワークショップの企画・運営にあたっては、中心市街地活性化まちづくりを展開するTMO箕面わいわい㈱と協働で実施します。

2 市民（消費者、利用者）、来街者の現状に対する考えや、あるべき姿への想いを把握するための各種アンケート調査

○市民（消費者、利用者）や来街者が感じる箕面駅周辺の問題点や課題を把握し、そして、箕面駅周辺のあるべき姿を探るためのアンケート調査を実施します。
○アンケート調査は、次の3つの手法で実施します。

- ①地域住民（地元商業者含む）アンケート
地元自治会や商店会などを通じて、地域に最も身近な居住者、地元商業者の意向把握を実施します。
- ②利用者・来街者アンケート
箕面駅周辺で開催されている箕面山七日市や四季イベントなどの集客イベント開催時に合わせて、買物客や観光客を対象とした街頭インタビュー調査を実施します。
また、8月初旬にオープンが予定されているタウンインフォメーション“みのたん”のオープニングイベント開催時にも街頭インタビューを実施し、広く意見の聴取に努めます。
実施予定：7/7、8/7 箕面山七日市
8月初旬 箕面まつり、四季イベント、タウンインフォメーションオープニング
- ③駐車場利用者アンケート
指定管理者である箕面都市開発㈱の協力を得ながら、市営第一駐車場の利用者（回数券購入者など）を対象にした意向調査を実施します。



○様々な集客イベントや、タウンインフォメーションオープニングといった中心市街地活性化、駅周辺整備の大きな流れに乗って実施することで、今後の駅周辺整備に関するPR効果もより大きなものになります。

市民（消費者、利用者）、来街者、地域商業者などの関係する全ての主体が、『交流舞台』箕面駅周辺に愛着を持ち、育てていくために…

まちの『交流舞台』にスポットライトを当て、様々な手法により共感を得る場を提供！

3 明日の箕面を担う、子どもたちの心にも、愛着や関心を芽生えさせるための絵画コンクール等の各種イベント

○より良い箕面駅周辺としていくためには、明日の箕面を担う子どもたちの関心を集め、愛着を持ってまちに接してもらうことがたいへん重要です。
○このために、TMO箕面わいわい㈱とも連携して、箕面まつりや四季イベント（夏まつり、秋まつり）、タウンインフォメーションオープニングイベントとタイアップしたイベントを開催し、子どもたち（もちろん大人も含めて）にも箕面駅周辺のまちづくりについて考えてもらう場を提供していきます。

①絵画コンクール
多くの子どもたちの参加が予想される8月初旬のタウンインフォメーションオープニングイベント開催時に、「お絵かきブース」を設置し、箕面駅周辺のまちの将来像を描いてもらうイベントの開催を企画します。
また、一定の募集期間を設けた絵画コンクールの開催も合わせてPRし、広く子どもたちの将来への想いを絵に描いてもらうイベントの開催を企画します。

②パネル企画展
四季イベントで開催された「箕面今昔物語」パネル展を、TMOと協働で継続的に開催し、箕面駅周辺の昔を振り返ることで、これからの姿を考えるきっかけを提供します。

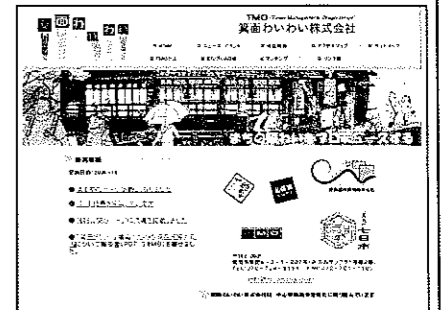


4 検討の経過を広く周知し、共感を得るためのホームページ、ニュースレター等の発信による情報の共有

○これからのまちづくり、公共施設整備にあたっては、検討の経過や結果をリアルタイムに、しかもオープンにすることで、情報を共有し、市民の共感を得ていくことがたいへん重要です。
パブリックコメント以外にも、次のような手法で、経過報告の周知に努めます。

- ①ホームページによる情報発信
箕面市ホームページ、TMO箕面わいわい㈱ホームページなどの既存情報サイトを活用してリアルタイムに、ワークショップ開催結果や懇話会開催結果、アンケート調査結果速報などの情報を発信し、多くの市民、関係者への普及啓発を検討します。
- ②ニュースレター配布による情報発信
ワークショップや懇話会の参加者、イベント参加者、アンケート回答者、地元自治会、地元商業者などに対しては、ニュースレター「（仮称）箕面駅周辺整備まちづくり通信」を作成し配布するなど、検討の経過を随時発信していくことを検討します。

○これらの情報媒体は、同時にタウンインフォメーションスペースでも配布を検討します。
○これら情報媒体の検討にあたっては、次年度以降に実施が予定されている設計や施工の経過などについても継続的に情報発信できるようなスタイル、構成となるように工夫していきます。



箕面わいわい㈱ホームページより

企画提案書

◆業務の進め方と着眼点

業務作業を進めるにあたり、何に主眼を置きどのように進めて行こうと考えるか。

